

今生 有香

Yuka Imai

五行陰陽 占い



名前と生年月日で
運命がわかる!

文芸社

『Boon-gate』のPDF作品を ご覧いただく前に…

操作について

- 作品の多くは「もくじ」のページで、進みたいページの項目を押せば、そのページまでジャンプし、また、ジャンプしたページのタイトルを押せば、目次のページに戻るよう設定しております。
- 直前に開いていたページに戻るには、画面上の「◀」ボタンで、直前に開いていたページに戻ります。

読み方いろいろ

- 通常は画面の「倍率」が100%前後になっていますが、「倍率」を150%まで高めると文字が読みやすい大きさになります。
- 通常は「見開きページ」で設定されていますが、「単一ページ」にすると読みやすく感じます。
- 読み進めるときは、「十字キー」を使用すると手軽です。
- 「サムネイル機能」を使用して読み進めると、2～3頁からとばし読みするのに便利です。
- 頁を「回転」させることが可能です。地図などを拡大して見るときに便利です。

http://www.bungeisha.com/PDF_is/05-top1.html でPDF作品についての説明を致しております。ご参照ください。

今生 有香

Yuka Imai

五行陰陽 占い



名前と生年月日で
運命がわかる!

文芸社

まえがき

占い歴二十九年。二十歳^{はたち}で結婚。姓が変わり、それまで元気だったのに、三年ぐらいを経て体調が悪くなったり、夫と意見が合わなくなったり、と離婚まで考えるほどになり、あまりにもいろいろなことが続いて起き、悩んでおりました。子供がいるので別れることができず、悶々^{もんもん}とした日々を送っておりました。

そんなある日、印鑑のセールスマンが訪問販売に来たのです。当時の私は占いとか印鑑などにまったく興味がなく、「高い印鑑を買わされる」と思つて、ドアを開けませんでした。ところが、何度お断りしても帰らず、最後には「印鑑を買わなくてもいいから、話だけでも」というので、ドアを開け、話を聞くと、「表札を見て、あまりにも画数^{かすう}が悪かったので、どうしても知らせたい。この画数では、どんなに頑張っても幸福にはなれない」と、はつきり言うのです。

それは、実は私がいつも悩んでいたことそのものズバリだったため、それまで占いなどあまり信じてこなかった私ですが、「生年月日と姓名で、人生の80%が決まる」

と聞かされた時、私は「この世の中には私のように、画数が悪くても何も知らないで、苦しんでいる人がたくさんいる。だから私が勉強して、少しでも悩んでいる人を救わなければ」と思ったのです。

まずわかったことは、本屋さんに行くと、「占い」と一口にいつても様々な本があり、勉強してある程度極めないと、一般の人にはなかなか理解しづらいということでした。私は「この一冊があれば、身近な出来事もわかりやすく把握できるといふ、もっと簡潔な手引書があったらなあ」と常に考えていました。

そんな時、東洋運命学の先生に出会い、明けても暮れても占いの勉強をし、子育てしながら一日七時間ぐらい夢中で学びました。最初は無料でお友達を占ったりしているうちに「とてもよく当たる先生がいるから」と噂になり、私自身も「人の役に立てるようになった」とだんだん確信をもてるようになってきたのです。

春夏秋冬があるように、全て病気も悩みも人それぞれ違うように、宇宙のエネルギーと自然とは何か、と考えてみたのです。それが五行陰陽であり、数字との兼ね合いと、数字が表す不思議さだということが、約29年前から多くの人の悩みを聞いていくうちにわかってきました。

私たちがこの世に誕生した時に、すでに一白水星から九紫火星までの星が定められ、また先祖代々受け継がれている姓にも数字と星があります。そして生まれた瞬間に、9つある星のうちの5つが決まります。あとは名前が命名され、9つの数字の星と生年月日で、どう生きていくかという人生の80%の運勢が決まるのです。

「占いなんかで自分の人生が変わるものか」と思っている人もたくさんいると思います。私自身も若かった頃はそうでした。しかし、これは科学では割り切れないことであり、多くの人の悩みを聞いていると、全部それなりに数字と星回りに出ています。数字の持つ力と、星がいかに大切かということ、星と星との相剋（いじめ合うこと）、これらのバランスが良ければ、人生も流れるように、自然に良い方向へと流れていくということをつくづく思い知らされたのです。

五行陰陽（木・火・土・金・水）の宇宙のエネルギーが思うように回転している人には、どう頑張っても勝てないのだということも痛感しました。

そこで、より多くの方々に自分の人生を左右する五行陰陽を知っていただきたいと思ひ、一冊の本にまとめてみましたのです。

誰もが一度しかない人生で、楽しい思い出をできるだけたくさん作りたいと思うの

は当然で、できれば悩みなど少ない方がいいに決まっています。家族も健康で仲良く、そして自分の人生でも、頑張つて努力したことが全て身になって返ってくれば最高なのですが、そう思うようにいかない人がこの世の中にはたくさんいます。どうしてうまくいかないのか、をまず認識することによって、新たな道も開けてくるはずですよ。

私事になりますが、平成七年に女性誌に16ページの記事を出していただき、平成九年に『誰にでもできる五行陰陽占い』という本を出版しました。そして、平成十七年十月、『五行陰陽占い——名前と生年月日で運命がわかる！』というタイトルの本を出版します(本書です)。また、テレビやラジオにも何回か出演したことがあります。

この本をぜひ参考に使っていただき、これからの運勢を今より少しでも良くして幸福になりたい人や、病気に苦しめられるなど様々な悩みを抱えている方々に、少しでもお役に立てていただければ、私にとってこれ以上の喜びはありません。

今生 有香

「目次」

まえがき 3

第1章 五行陰陽とは……………10

五行陰陽占いとは何か 10

五行にはどういう意味がある？ 12

相剋する星と星 18

それぞれの星が欠けるとどうなる？ 21

画数と五行で運勢をみる 28

運勢をみる時にどこにポイントをおけばいい？ 35

画数だけ良ければいいというわけではない 37

特別な画数の出し方 39

画数にはそれぞれの意味がある 47

それぞれの画数の意味も総格によって変化する 65

第2章 男女別理想的な五行陰陽……………67

男の子と女の子の画数の見方の違いとバランスのとり方 67

男の子の良い例 72

女の子の良い例 85

第3章 気になる相性と愛情運の見方……………94

五行陰陽が相性を教えてくれる！ 94

第4章 あまりつけたくない名前と、改名すれば良くなる画数と星……………113

健康に悩むケース 114

突発事故で亡くなるケース 118

頭部や脳の病気にもなりやすいケース 121

結婚して姓が変わったケース 123

不幸な家族を占う 129

自分の人生がわからなくて、不運に流されるケース 138

改名して成功した例 161

方位について 169

家を購入する時の心構え 170

第5章 あまりつけたくない名前と、改名すれば良くなる画数…… 173

なぜ思うような人生が送れないのか？ 173

第6章 総画数が教えるあなたの人生 …… 193

あとがき 248

付録 251

第1章 五行陰陽とは

五行陰陽占いとは何か

私たちはこの世に誕生した瞬間に、その生年月日から、一白水星から九紫火星まである、いずれかの星が定められます。そして姓は親から代々受け継がれている霊と、文字の霊があるわけで、それは変えることはできません。生年月日によって、生まれた瞬間に4つの星が決まるのです。また、姓の星と文字も決まります。

星はこの時点ですでに5つ、そして文字の画数が1つ決まるわけです。

あとは名前が決められ、その人がどう人生を歩んでいくかの80%が決まります。ま

た病気も、どこが一番悪くなるかがわかります。名前とはそれほど大切で、人間の臓器の一部と同じものなのです。

つまり、人の運命は生年月日と名前によって左右されるといえるのです。

このように、生年月日と名前から決まる星Ⅱ五行を割り出すことで、その人の人生を総合的に判断できるというのが、五行陰陽占いなのです。

私が、数多くの占いの勉強をして強く感じたのは、「（星）（型）の人」というのもその星の方の全てが、今年が悪いとか、良いとかと限定できないのはどうしてか、という点でした。「正確な答えが得られないのはなぜか」と深く追求した結果としてたどり着いたのが、五行陰陽でした。百人いれば百人とも顔が違うように、それぞれ名前も、生年月日も、運勢も違うということが、五行陰陽では正確に計算でわかり、百人いれば百種類の答えが得られる点が素晴らしいと思います。

あなたが親からいただいた、生まれた時から使っている名前と、あなたが選ぶことのできない生年月日が、知らない間にあなた自身の人生に大きな影響を与えていることに、ぜひとも気づいてほしいのです！

五行陰陽は同じ親から生まれた兄弟であっても、性格、運勢、健康、対人関係がまっ

たく異なるように、一人一人全体の画数と星の兼ね合いで、答えが違ってきます。そして、何より良い点は、もし運勢が良くなかったとしたら、五行陰陽にはそれを良くする方法があるということです。それは「改名」です。

戸籍を変えるわけではなく、ペンネームのように、日常生活で、良い画数にした名前を使用することで、良い運勢、良い対人関係、健康運、金運、仕事運など、いちいち挙げたらきりがありませんが、とにかく自信をもって前向きに対処してゆくことができるようになるのです。

このように今までの占いで得られない問題解決の道を、五行陰陽占いを利用すれば、切り開くことが可能だということを、まず覚えておいてください。

五行にはどいつの意味があるの？

まず、五行とは、曜日として私たちの生活の中に入り込んでいる「木・火・土・金・水」であり、その五つはいわば、自然界そのものです。つまり、これは宇宙エネルギーそのものなのであって、この「木・火・土・金・水」が、全ての宇宙の運行と、一人

一人の人生の運氣を表現しているのです。

そして、この五行には、

水は木を育て、

木は燃えて火になり、

火は灰を生み土になり、

土の中から金属が生まれ、

金属は溶かされて液体となる

という意味があります。

また、水は木を育てる、というように、「木・火・土・金・水」のエネルギーが姓名の中で全部の星と所要所に生きる画数になっている場合、例えば自分が努力した結果は後で全てプラスとなつて返ってきます。そのような人はあまりいませんが、生年月日の星で五行が全て埋まれば問題はありませぬ。ところがこの五行のどれか一つでも欠けたり、また逆に多過ぎたりすれば、そこでエネルギーが滞ることになって、事故や病氣、災難などに襲われることになったりするので。

例えば、姓名の字画がどんなに良い数字だったとしても、五行の「火」が欠けてい

たりすれば、いくら健康管理に気を配っていても病気はよくならないでしょう。つまり、この五行の5本の柱がバランスよく整っていないとダメということです。

でも、その柱のバランスが悪く不運が続くようであっても、名前を変えて五行を整えれば、人生は大きく変わっていきます。五行とは、それほど人生の運氣に影響を及ぼす大切な柱なのです。

よく物事に行き詰まったりした時に、「基本に返れ」と言われます。五行の「木・火・土・金・水」という自然界の大基本に戻ってみれば、理解しやすくなりますし、それによって調整をすれば、道も開けてくるということです。

ただもがいているだけでは、自然界の摂理には逆らえません。それほど、一人一人の人生において大変な影響力を持つのが五行なのです。

その五行の柱には、それぞれ意味があります。

【木】 神経、足、子供、事故、肝臓

【火】 情熱、頭部、心臓、血圧、離婚

【土】 家庭、結婚、消化器、皮膚

【金】主人、妻、異性関係、呼吸器、腰、骨

【水】住居、肝臓

このように、それぞれの柱には意味があり、それぞれの意味に関わってくるようになります。また、この柱はそれぞれ性格を持っています。

〔木の基本的性格〕

木には、「曲がる」、「真つ直ぐ」という二つの相反した性格があります。これは、木の性格が、その人の生活環境と社会環境とに密接につながり合っているということを示します。つまり、環境が整わなければ、曲がりくねった性格になってしまいますし、逆に環境が整えば、凛々しい大木としての性格を持つことができるということです。

この二つがうまくバランスをとることができれば、温かで、柔らかい、そんな優しさを秘めた性格になります。

〔火の基本的性格〕

火は、読んで字の如く、燃え盛り、伸び上がるような性格を表し、明るさや朗らかさ、激しさなどがその性格の基本になります。常に積極的な思考を持ち、人一倍情熱的などころもあります。

ただ、その情熱的などが、一歩間違えれば原子力のように危うい火を作ってしまうかねません。その性格の使い方次第で、善悪どちらにも転ぶ要素を持っているということです。

〔土の基本的性格〕

土とは、作物を植えて取り入れるという意味を持っており、そのような長期的計画性があります。つまり、五行の中でも土が一番重要な生存要素を担っているということです。

性格としては、責任感も強く、正義感にもあふれて、政治的な行動をとることも多く見られるようです。

〔金の基本的性格〕

金には土の中に鉄水、金属などたくさんの栄養をあげるといふ大切な役割があり、性格的には意志が強く、負けず嫌いで人一倍忍耐力があり、真面目で責任感も強く、一度決めた夢は人が何を言っても挑戦して努力しますが、これ以上はダメだと思つて180度変えることができる特徴を持っています。

自分を変えてまた新しいことに挑んでいくことは、確かに苦勞もつきまとい、困難なことではありますが、この性格の人は、新しい社会的規範を作り上げていくような強い使命を持っているようです。

〔水の基本的性格〕

水は、その流れのようにゆつくりと湿り気が染み渡ることを意味します。つまり、潤いを基本とし、調和の基となりますし、そもそも水は人が生きるための必要不可欠な要素であることは言うまでもありません。

また、水は知恵をも表し、その知恵が水の基本的特質になります。調和と知恵、潤

いがある性格に秘められているのです。もちろん、その特質を左右するのは、その人次第ということになります。

相剋する星と星

相剋さうこくとは星が合わないことです。五行の「木・火・土・金・水」の各エネルギーは、常に星がいじめ合うことがないのがベストですが、それとは逆に、相剋というものがああります。

相剋とは、星と星が合わないでいじめ合うことをいい、

火は水をかけるとすぐ消えて、

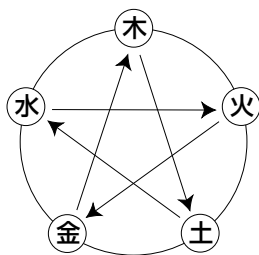
金物は木を切り、

火は金物を溶かし、

台風になると水が出て、土が流れ、

木もだめになり、土に流れる

という意味があります。



つまり、木は土を、土は水を、水は火を、火は金を、金は木を剋することになるのです。ただし、その相剋の中で星と星がいじめ合う激しさにも程度があります。

●1番の相剋→水星と火星

火は水をかけられるとすぐに消えてしまうことから、これは一番激しく悪いものになります。

●2番の相剋→金星と木星

金はのこぎりやナイフなどの金物で木を切るのだから、相剋しています。

●3番の相剋→火星と金星

火は燃えて金物を溶かします。相当燃えないと金物は溶けません、相剋していることには違いません。

● 4 番の相剋 ↓ 土星と水星

水によって土は流れますが、土には水の流れを止める作用もあり

ます。たとえば台風が来て大水が出て、土はそれを止めようと頑張るわけです。台風はそれほど頻繁に発生するわけではないので、中でも、心配の少ない相剋と言えるでしょう。

● 5 番の相剋 ↓ 木星と土星

木は土の中にある栄養を食べて成長しているわけですから、相剋といっても、ただ土が木から栄養を取られるという意味になります。ですから、相剋の中では自然体に近いものであり、あまり心配はありません。

以上述べたように、相剋も星と星とがいじめ合うことで、逆に能力を発揮させてしまふことにもなります。例えば、人間は木がなければ家も建てられないし、火陽（太陽のこと）がなければ生活することはできません。土がなければ作物は作れないし、金の栄養がなければ作物も成長しない。また水がなければ作物も枯れて死んでしまい

ます。

星に「木・火・土・金・水」があるように季節にも春夏秋冬があり、例えば春にはやつと新芽が出て、木々にも緑が出てきます。夏には温かい火星の太陽で作物が成長します。秋には土の中に埋まっていた作物を収穫します。新たに土地を耕して土の中の金水、鉄水の栄養を自然界の水でまた待つという意味です。

それぞれの星が欠けるとどうなるか？

これまで挙げてきた通り、五行にはそれぞれ基本的な性格と意味があり、また星と星とがいじめ合う相剋というものがあります。その五行の柱がどれもバランス良く、相剋し合わないことが何より望ましいのですが、全てをバランスよく持ち合わせている人というのは、そうはなかなかないものです。

五行の柱には、それぞれの病気もありますが、どれか一つでも欠けると、その星の持つ基本的な性格によって運勢にも響いてきますし、星と星とがいじめ合うことによっても様々な状態を招いてしまいます。

●木星が欠けると才能運、子供運、希望運に欠けてしまう

いつも、自分では気を配っているのに事故ばかり起こしてしまったり、お酒も飲めないのに肝臓が悪くなったりする。またいつも肩こりがひどかったり、子供の問題や足の病気で悩んだりする。これは木星が欠けているからです。

そうなると神経質でいつも不安感でいっぱいだったり、自律神経失調症で自分で悩み過ぎたりと、様々な病気を自分で作ってしまうことになりかねません。

●火星が欠けると成功運、名声運に欠けてしまう

どんなに高いお金を出して健康食品を利用して健康に気をつけても、なかなか病気はよくなりません。また情熱に乏しく、向上心も欠けてしまい、どこか曖昧になって、人からの信用もなくなってしまう。そうなると仕事などの成功が非常に困難になります。また離婚問題などが起こった時にも、迷いが生じたりします。

これらは火星が欠けているからです。

●土星が欠けると名声運、結婚運、愛情運に欠けてしまう

消化器や胃腸関係が弱く、下痢を起こしやすくなります。また家庭不和や、結婚に恵まれなかったり、仲が縁遠くなったりします。やはり、いくら自分で気をつけていてもダメだということがわかります。土星が欠けているからです。

●金星が欠けると蓄財運、社交運に欠けてしまう

金星が欠けると腰痛がひどかったり、呼吸器が悪く、皮膚病やガンなどの問題も出てきます。また、妻の性によって夫が悩んだり、逆に夫の問題で妻が悩んだりします。結婚問題でもなかなか縁遠かったりするなど、悩みはつきないものです。

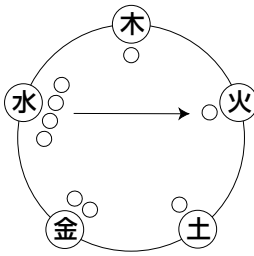
柔軟性に乏しいため、人との付き合いも苦手だったりして、困難に立ち向かう勇氣にも恵まれません。また、それによって社会的規範もできないため、財産を蓄えることなどとても無理という具合になってしまいます。

●水星が欠けると住居運、不動産運、子供運に欠けてしまう

水星が欠けると頭痛がひどかったり、腎臓が弱く、泌尿器が弱かったりするなど婦人科系をやられるためにセックスの面でトラブルが出てきます。そうなると子供にも恵まれません。

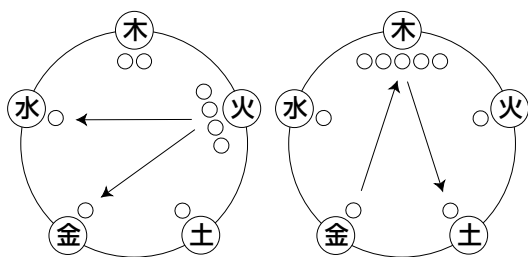
これらは知恵や調和、潤いに欠けることによっても生じます。また住居を買ってもローンが払えなくなったりするなどトラブルが付きません。

(戸籍の) 姓・名前と生年月日による五行で、本当にこのような問題が起こるのですから、不思議なものですが、実際に出てくるのです。また、どれも自分では気を配っているつもりでも、そうした問題から逃れることはできません。



逆に「星」が多過ぎて、やはり問題が出てくるのです。これらは全て、五行のバランスによって生じる問題なのです。

それでは次に、どのようなバランスだとこのようになるのか、実際に名前と生年月日による五行陰陽を見てみることにしましょう。

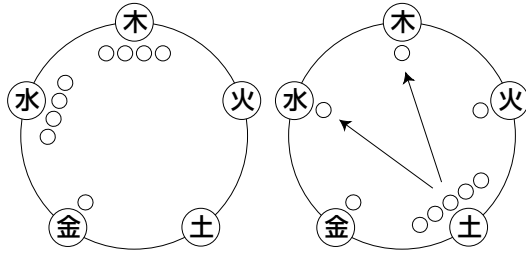


この場合の五行陰陽を見ますと、水星が4つです。不動産・住居運には恵まれますが、水星が多く火星が1つですから、病気でいうと血圧のバランスが気になります。水星が多過ぎてもだめですから、糖尿病などに注意です。また文字の画数が良いか悪

いかにもよります。

木星が5つです。神経は図太く無神経で、家の柱でいうと、太い柱と細い柱でバランスが悪く、どうしても太い柱に負担がかかります。人間でいえば胃腸、腰痛、ストレス、事故に注意で、肩こり、足にも来ます。ただし、文字の画数が良ければ守られることもあります。

火星が4つです。火は金物を溶かすという意味があり、金星が1つなので血圧、腰痛、異性トラブル、心臓、子宮、婦人科、頭痛、糖尿、動脈硬化などに注意です。また不動産、住居にもトラブルが起きやすくなりますので、気をつけたいとこ



ろです。

土星の柱が5つ、これではガンになってしまう
 かもしれません。消化器、子宮、肝臓ガンに注意
 です。

またガンになる文字の画数もありますから、五
 行との兼ね合いが二点三点と重なりと注意が必要
 です。

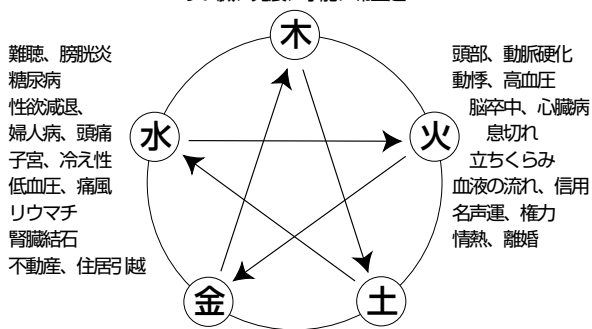
五行のうち火星と土星がありません。この場合
 は、身体は大人になっていますが、心が大人にな
 りきれないところがあります。冷え症で血圧の流
 れが悪く、土星がないので、この場合も文字の画
 数によってはガンになる可能性があります。また
 消化器、血圧、心臓にも注意が必要です。

五行のうち、1つでも欠けるとどこが悪くなるか、また相剋による例をまとめてみ

第1章 五行陰陽とは

ました。

指、手足痛、肩こり、自律神経、精神病
不眠症、事故、肝臓病、胆のう炎
すい臓、発展、才能、希望運



難聴、膀胱炎
糖尿病
性欲减退、
婦人病、頭痛
子宮、冷え性
低血圧、痛風
リウマチ
腎臓結石
不産、住居引越

頭部、動脈硬化
動悸、高血圧
脳卒中、心臓病
息切れ
立ちくらみ
血液の流れ、信用
名声運、権力
情熱、離婚

抗原病、結核
気管支炎、鼻の病気
扁桃腺、肺病、腰痛
骨、関節、筋肉の病気
ぜんそく
孤立、蓄財運
社交運
主人、妻の問題
異性トラブル

胃腸病
下痢、便秘
皮膚、アトピー
食欲不振、痔
ガン、疲労
家庭運、夫婦仲
結婚運、愛情運
人間関係

画数と五行で運勢をみる

さて、五行陰陽と相剋が理解できたところで、実際に画数を出していきましょう。

まず、姓名から、天格、人格、地格、外格、総格とそれぞれの画数を出していきますが、その前にそれぞれの説明をしておきます。

天格 家に代々受け継がれている姓の運です。これは変えることはできません。

人格 30歳から50歳前後の運勢を表し、自分の気持ちや人との協調性を表す大切な部分です。

地格 0歳から30歳前後の運勢を表し、特に健康を表す部分です。すなわち一生の健康を左右するところです。

外格 対人関係の運勢を表し、外から来る人による運を表します。

総格 全体の自分を表す一番大切な部分です。晩年50歳前後から死ぬまでの運勢を暗示します。

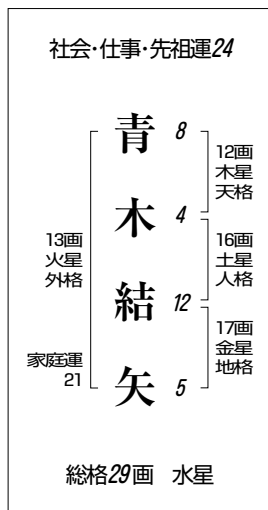
〔画数の出し方〕

例えば右の方の場合で出してみると、天格は、姓の「青」「木」の画数の8と4を足して12画になります。

人格は、姓の下の字の「木」の4画と名前の上の文字の「結」の12画を足して16画になります。

地格は、名前の「結」の12画と「矢」の5画を足して17画になります。

外格は、姓の上の字である「青」の8画と名前下の文字の「矢」の5画を足して、13画になります。



途中省略

本編はダウンロード時間短縮のため省略版でお届けしています。
途中省略なしの完全版をご希望の方は製品版をご「購読」ください。

著者プロフィール

今生 有香 (いまい ゆか)

1948年東京生まれ。早婚を機に波乱万丈の人生が続き、一時は宗教にも凝るが、変わらない生活に悶々としていたある日、印鑑のセールスに乗ってみる。27年前のこの体験をきっかけに姓名判断に興味を持ち始め、姓名学・気学方位などを師について学び、「姓名五行陰陽師」として今日に至る。

名前と生年月日から導かれる「五行陰陽占い」は週刊誌に紹介されたとともに話題になり、問い合わせが殺到した。



五行陰陽占い 名前と生年月日で運命がわかる！

2005年11月15日 電子出版発行

著者 今生 有香
発行者 瓜谷 綱延
発行所 株式会社文芸社

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-10-1
電話 03-5369-3060 (編集)
03-5369-2299 (販売)

<http://www.boon-gate.com>

© Yuka Imai 2005 Corded in Japan

ISBN 4-286-00345-0

(文芸社発行の通常書籍(紙の本)については、全国書店でお尋ねいただくか、「文芸社ON-LINE」サイト、<http://www.bungeisha.co.jp> を御参照ください。)

新 05.11.02 Y.H.